

フローリング(無垢)
の施工上の留意点

後藤木材株式会社

岐阜県岐阜市大倉町 12

TEL.058-271-3000

FAX.058-271-3550

【販売代理店】

株式会社 こうけん

鹿児島市田上台 2 丁目 43 番 1 号

TEL.099-284-7073

FAX.099-284-7080

1. ムクフローリングの留意点

木材は、常に膨張と収縮を繰り返しています。湿気があると水分を吸湿し膨張します。乾燥時は、その水分を吐き出して収縮します。環境湿度により平衡含水率も変化します。弊社のムクフローリングは人口乾燥により含水率を 12%前後調整しております。従って、膨張による突き上げを防止する必要があります。

突き上げを防止する方法として、金へらのようなスペーサーを板間にはさみ隙間を取って貼るか、緩めに貼る。同時に長さ方向も目隙を入れる。又、施工約 1 週間前に現場に搬入しバンドを切らずに置いておき、現場の空気（湿度）になじませておけば収縮が少し抑えられます。また、施工環境は、湿度の安定した日が良好です。

2. ムクフローリング膨張収縮率

含水率 (%)	含水率 1%当たりの膨張収縮率 (%)	
	幅方向	長さ方向
12.0	0.2	0.016

製品巾方向の膨張収縮率

室内平衡含水率 15%の場合

室内平衡含水率 15% - 初期含水率 12% = 含水率増加 3%

含水率増加 3% × 膨張収縮率 0.2% × 製品巾 75mm = 0.45mm

ただし、上記膨張収縮率は圧縮材単体の測定結果の計算値であり、実際の数値は施工条件（施工場所・立地条件等）によって、変化の大小があります。

3. 施工上の留意点

- ①. 天然木材を使用していますので一枚ごとに色柄が異なります。施工前に仮ならべを行い、色柄のバランスを考慮して割り付けてください。
- ②. 下地は十分に乾燥させて下さい。下地に湿気があるとフローリングが湿気を吸収し伸びが生じます。（ソリ・膨れの原因）
- ③. 必ず合板の捨て貼りをし、合板は 12mm 以上の耐水合板を使用してください。また、捨て貼り合板の間は、2~3mm 開け、継ぎ目段差がないように施工します。その際、捨て貼り材の継ぎ目とフローアの継ぎ目が揃わないようご注意ください。
- ④. ムクフローリングは、接着剤併用隠し釘打ち貼りとしてください。
 - ・接着剤(JIS A5536) ポリウレタン樹脂接着剤
 - ・釘 ステープル釘

⑤. ムクフローリングの貼り方

下地材の捨て貼り合板にポリウレタン接着剤を、フローリングの長手方向に対し直角方向に、ビード状(約300mmピッチ)に塗布した後、割付した墨出し線に沿って、曲がり、浮きがないように注意して、雄実基部に40~45度の角度でステープル釘を斜め釘打ちしてください。但し、木材の吸湿による膨張を考慮して、フローリングの長さ方向、幅方向とも目地は接着・密着させず、十分でかつ均等な間隔を開けてください。目安として常時、空調装置が作動している場所に使用するフローリングは、長さ方向、幅方向ともに0.3mm程度の間隔とし、比較的外気の影響を受けやすい、場所は、長さ方向、幅方向ともに約0.5mm程度の間隔を開けてください。

釘のピッチは、300~360mm程度としてください。

- ⑥. 壁際部分は、湿気による突き上げの起こる恐れがありますので5~10mm程、間隔を取った方が安全です。間隔部はクッション材又はシリコン等で充填してください。

4. 養生

- ①. フローリング張り込み時に使用した接着剤を十分乾燥・固化させるため、床貼り終了後、1週間程度の養生を行ってください。
- ②. 施工後は傷や水濡れから床材を守るため、床をきれいに清掃し養生シートを養生テープで止めてください。
- ③. 養生シートの上からペンキや雨水等がかかるとシミになることがありますので注意してください。
- ④. 養生シートは必ず養生専用シートを使用してください。
- ⑤. 養生テープは必ず養生専用テープを使用してください。
- ⑥. シート、テープは養生専用の物意外を使用すると、床材表面を傷めたり、変色、ワックスのはじきを生じたり、粘着剤が残るので注意してください。
- ⑦. 施工後は、高温多湿の状態で締め切ると、床材を突き上げの原因になることがあるので換気を充分に行ってください。
- ⑧. 養生期間が長期間になる場合は、吸湿などにより膨張する恐れがあり、その状況下における適切な処置をしてください。

3. フローリングのご使用時の注意点

- ① 室内に余分な土やホコリ及び水分を持ち込まないよう、屋外に面した出入り口には防塵マット等を設置して下さい。常時水がかかる恐れがある浴室の入口や洗面所等は、水切りマットのご使用をお勧めします。水に濡れたまま放置することでシミや変色だけでなく、カビの発生やフローリングの膨張による膨れや反りの原因となります。
- ② 重量物の搬入・搬出の場合、フロー表面の損傷を防ぐために、合板等で床面を保護して下さい。
- ③ フロー表面に傷がついて木部が見える場合、傷が小さければ、市販のウッドパテ等で補修してください。傷が大きい場合は、手直しが必要です。この場合、専門家にご相談ください。